令和6年度 西成区教育関連事業の実施について

1. 西成区こども生活・まなびサポート事業 重点施策推進経費
（令和6年度 予算額 147,859千円）

(1)事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行うサポーター等を配置する。不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」を目指す。また、小学校低学年の児童に対して授業中や休み時間等に寄り添い支援を行い、児童の学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる。

(2)実施内容

	区登校支援・見守り支援員	区居場所支援員	区学習姿勢向上支援員 区低学年サポーター
対象校	区内16小中学校	区内の一部の中学校	区内全10小学校
主な対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒（特に不登校の児童生徒）	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒	小1プロブレムなどが原因で学習姿勢が身についていない小学校低学年の児童
業務内容	・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）における支援	小学校低学年の児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	・12月下旬の長期休業期間中を利用して、各支援員の全体集合研修を実施予定。 ・令和７年２月に区内関係中学校の校内適応指導教室の物品を納品予定。（入札手続き中）		

(3)進捗状況

・登校支援や登校後の寄り添い支援を行うことにより、令和６年度の１学期末時点では、令和５年度の１学期末時点と比べて、区内中学校では不登校在籍率が減少しているが、区内小学校では不登校在籍率が増加している。不登校在籍率が３学期末にかけて増加する傾向があることから、引き続き、学校に対し登校支援・見守り支援員及び居場所支援員の有効な活用をお願いしたい。

・令和６年度の年度当初に比べて１学期末時点では、担任による学習姿勢の評価（「座って学習できている」、「学習活動に参加している」、「担任の話を聞いている」の３項目）の全ての項目において学習姿勢が向上している。３学期末に向けて、更に学習姿勢が向上できるよう10月～11月にかけて、学校（管理職、担任、学習姿勢向上支援員）と打合せを行った。

2.外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費
（令和6年度 予算額 9，934千円）

(1)事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校４年生～中学校３年生のうち、日本語指導教育センター校通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒
申込方法	学校が受講者を推薦する。
科　目	国語、算数、数学、理科、社会、英語の中から、児童生徒の状況に応じて決定する。
実施内容	児童生徒３名に対して講師を１名配置し、個別の学習指導を行う。
授業料	無料
場　所	岸里小学校　水曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:40 〃　金曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～19:40 鶴見橋中学校　火曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～20:40 〃　木曜日：小学生 17:30～18:30、中学生 18:40～19:40

(3)進捗状況

・各学校より受講者を推薦していただいた結果、定員65名に対し小学生17名、中学生10名の参加となっている。（10月末時点）引き続き、学校に対し受講者推薦の協力をお願いしたい。

・授業では、配布している教材についている単元ごとの確認プリントや、前回の授業の重要事項をまとめた確認テストを定期的に行っている。

これにより、初回授業では受講者の現学年より遡った学年の学習をしていたが、授業が進むにつれて受講者の現学年に近づいてきている児童生徒もいる。

3.学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費
（令和6年度 予算額 7，533千円）

(1)事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

(2)実施内容

対象者	区内中学生（１～３年生）
科　目	国語、数学、理科、社会、英語
受験料	無料
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年４月25日　中学校の実務担当者向け事業説明会を開催 令和６年５月31日　中学校３年生　模擬テスト受験 令和６年７月１日　デジタルドリルの利用開始（～３/31まで） 令和６年７月４日　苦手分野の演習問題を配布 令和６年７月５日　テスト結果の返却 令和６年12月２日　中学校１・２年生　模擬テスト受験 令和７年１月下旬　苦手分野の演習問題を配布予定 令和７年１月31日　テスト結果の返却予定

(3)進捗状況

・区内中学校３年生475名中409名が模擬テストの受験をしたところ、西成区の平均正答率は、５教科全てで全国の平均正答率を下回っている状況となっている。

・デジタルドリルの使用度合について、半数の学校が使用している状況となっている。

4. 発展型学習支援事業 重点施策推進経費（令和6年度 予算額 16，293千円）

(1)事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校５・６年生（定員 140 名）及び中学生（定員 40 名）
申込方法	児童生徒または保護者が事業者に直接申込
科　目	（小学生）国語、算数、英語 （中学生）国語、数学、英語　※中学校３年生の長期休業中に理科・社会
実施内容	児童生徒５名に対して講師を１名配置し、発展的な学習指導を行う。
時間数	（小学生）年間 100 時間 （中学校１・２年生）年間 300 時間 （中学校３年生）年間 340 時間（うち理科・社会が 40 時間）
授業料	無料
場　所	（小学生）岸里小学校、千本小学校、まつば小学校、南津守小学校、あいステーション 週２回 17:00～18:00 長橋小学校　週２回 18:00～19:00 （中学生）梅南中学校　週３回 18:30～20:30
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年４月 19 日～26 日　受講者募集 令和６年５月９日～　授業開始 令和６年５月 17 日～31 日　受講者追加募集 令和６年７月８日～26 日　受講者最終募集 令和６年８月　**小学校５年生～中学校３年生までの児童生徒・保護者**に向けてのアンケートを実施 令和７年１月下旬～２月上旬　次年度事業実施に向けての参加募集チラシを配布予定

(3)進捗状況

・受講者の最終募集をした結果、小学生が定員 140 名に対し 45 名の参加、中学生が定員 40 名に対し 31 名の参加となっている。（10 月末時点）

・小、中学生とも自学自習形式で、始業時に本日の学習計画を個々で立て、終業時に本日の振り返りを行い、宿題内容を決めるなど、メリハリのある学習を促している。授業内では宿題と同じ課題を小テスト形式で解き、同じ内容を繰り返し行うことで理解度を深め学習の定着につなげている。

5.西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)区長裁量予算(令和6年度　予算額　251千円)

(1)事業概要

区内の小学校５・６年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校５・６年生及び中学生
科　目	（小学生）国語、算数（中学生）国語、数学、英語
授業料	月額１万円（塾代助成カード利用可）
場　所	（小学生）北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 （中学生）鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年４月　受託事業者と協定締結、参加者募集、授業開始 令和６年９月～11 月　区内７小学校で体験会を実施 令和６年 12 月　次年度新５年生に対しチラシを配布予定

(3)進捗状況

○小学校５・６年生参加者数（10 月末時点）合計 14 名

北津守小学校　５名

たちばな会館　３名

玉出老人憩いの家　６名

○中学生参加者数（10 月末時点）合計 66 名

鶴見橋中学校　26 名

たちばな会館　21 名

玉出老人憩いの家　19 名

6. 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)区長裁量予算
(令和6年度　予算額　8，332千円)

(1)事業概要

　区内小学３・４年生に対し、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

　令和６年度の変更点として、ジャガピースクール体験会を授業や放課後の時間帯を活用して、小学校３年生全員に対して実施。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校在学の３・４年生（前期定員：264 名、後期定員：270 名）
日　時	３・４年生：年間 45 時間 うち、前期（６～８月）20 時間（放課後の時間・夏休みに実施） 後期（９～２月）25 時間（放課後の時間・冬休みに実施） を基本に学校ごとに個別調整
科　目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年４月 30 日～５月 16 日　全学校にてジャガピースクール体験会（３年生） 令和６年４月 24 日～５月 17 日　参加者募集 令和６年６月～８月　事業実施（前期） 令和６年７月 12 日～18 日　後期参加者追加募集 令和６年９月～令和７年２月　事業実施（後期） 令和７年２月～　受講者・受講者の保護者向けアンケートを実施

(3)進捗状況

・前期授業の定員が 264 名に対し 225 名の参加、後期授業の定員が 270 名に対し、251 名の参加となっている。(10 月末時点)

7. プレーパーク事業 重点施策推進経費（令和6年度 予算額 17,142千円）

(1)事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

(2)実施内容

〇プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、こどもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」など３機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育むこどもの居場所としてのプレーパーク事業を実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場　所	・もと松之宮小学校校庭（1 ヶ月に２回程度） ・もと今宮小学校運動場用地（１ヶ月に２回程度） ・区内公園　など（開催回数制限なし）

〇体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場　所	・西成区内小中学校体育館・運動場 （各学校　主に長期休業中に年に 1 回程度） ・西成区役所庁前広場・区民ロビー　など（開催回数制限なし）

(3)進捗状況

・(プレイス型）もと松之宮小学校 16 日、もと今宮小学校 12 日、南津守中央公園 1 日、西成区民センター１日、計 30 日間開催、
平均来場者数 73 名（10 月末時点）

・(体験型）区内公園 1 日、区内小中学校７日、計８日間開催。
実施内容：昆虫観察、アートワークショップ、職業体験、防災体験学習、多文化交流、スポーツ教室
平均来場者数 112 名（10 月末時点）

※11 月以降も、区内各小中学校や区役所などで職業体験やワークショップなどを実施予定。

8. 西成区こどもの読書活動推進支援事業 校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）
（令和6年度 予算額 390千円）

(1)事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

(2)実施内容

対象者	区内小・中学生
年　間 目　標	小学校１年・２年　100 冊　　小学校３年・４年　70 冊 小学校５年・６年　50 冊　　中学校１年～３年　25 冊
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年３～４月　読書カードを児童生徒へ配付（必要校のみ）・ふりかえりシートの送付 令和７年１月　集計依頼 令和７年２月　読書数集計 令和７年３月　目標達成者へ賞状授与・学校で区長表彰（希望校） （最多読書賞も学校訪問時に表彰）

(3)進捗状況

・令和６年４月～令和７年１月は、読書活動の取組期間。令和７年２月に報告書の提出をする予定。

9. キャリア教育推進支援事業 校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）
（令和6年度 予算額 261千円）

(1)事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、児童生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。

(2)実施内容

令和６年度実施校	今宮中学校・成南中学校・玉出中学校
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	令和６年３月　学校にキャリア教育希望チーム調査を実施 令和６年４月～　大阪市と協定締結しているプロチームと実施について調整

(3)進捗状況

・令和６年７月２日　今宮中学校にて大阪エヴェッサのキャリア教育を実施。
・令和６年７月４日　成南中学校にて大阪エヴェッサのキャリア教育を実施。
・令和６年 10 月 31 日　玉出中学校にてセレッソ大阪のキャリア教育を実施。

10. 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 区長裁量予算
（令和6年度 予算額 1，400千円）

(1)事業概要

区内小中学校の児童・生徒にプロの演奏を鑑賞してもらい、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、子どもたちの心に深く芸術文化に触れた記憶を残し、地域への愛着や誇りをはぐくみ、魅力ある地域へと変革させる人材育成につなげるとともに、将来の目標を見出していける人材育成をはかることを目的として実施。

(2)実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	〇令和６年度実施校（２年間で各小中学校を訪問） 鶴見橋中（５/20）・成南中（６/14）・今宮中（７/８）・北津守小（５/10） 岸里小（５/13）・新今宮小（５/23）・長橋小（５/28）・千本小（６/17）
内　容	各校の要望に合わせ、１～２コマ連続で実施

(3)進捗状況

全８校実施済み

※９月７日（土）『西成オーケストラ鑑賞会 2024』区内在住の小学校４～６年生の児童と保護者向けに無料ご招待。児童 37 名、保護者 35 名の来場者あり。
場所：大阪フィルハーモニー会館、時間：午後４時 30 分～午後５時 30 分

11.西成しごと博物館について
（大阪府中小企業家同友会西成住之江支部南東ブロックと協働実施事業）

(1) 事業概要

西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

(2)実施内容

対象者	区内小学生（４～６年生）、**区内中学生（１～３年生）**※今年度拡大
実施日時	令和６年 10 月 27 日（日）午前 10 時～午後４時　159 名の来場者あり。
場　所	西成区役所４階
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	９月　小中学校長会にて実施内容を説明 10 月上旬　パンフレット配布 12 月　活動レポート配布予定

12.帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業

校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)（令和6年度　予算額　2，114千円）

(1)事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2)実施内容

活動実績に応じて、サポーターに報償金（1時間あたり 1,100 円）を支給する。

令和６年度の変更点として、総配置時間を 600 時間から 1,500 時間に増。1回の活動あたり 1,500 円を上限に交通費を支給。

(3)進捗状況

・現在活動しているサポーター数（10 月末時点）

17 名

・活動実績（全校合計）651 時間

（内訳）４月 72 時間、５月 104 時間、６月 120 時間、７月 121 時間、
８月 10 時間、９月　76 時間、10 月 148 時間

13.小・中学校サポーター登録事業　区長裁量予算

（令和6年度　予算額　0千円）※予算額0千円であるが、区長裁量事業として実施

(1)事業概要

各学校で活動していただけるサポーターの情報を西成区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

(2)進捗状況

・大学へ募集チラシの配架や掲示の依頼。募集チラシをメールや郵送などで 29 ヶ所の大学に送付。

・大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPAN の外国人求人メディア（YOLO WORK）に帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーターの募集を掲載し、３件の応募あり。

・紹介実績（10 月末時点）

区低学年サポーター　８名

帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーター　12 名